

令和六年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一五〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(広田照幸、『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』、筑摩書房、二〇二二年、一八〃三三ページ、抜粋・一部改変)

問一 筆者は下線部①「教育をしても学習が発生しないことがあるし、逆に、教育なしでも学習は発生する」と述べています。このような「教育」と「学習」の関係について、具体例を挙げながら六〇〇字以上、八〇〇字以内で説明しなさい。

問二 筆者は下線部②『あえて学校に行かない』という選択には大きなリスクがつきまといっている」と述べています。このような筆者の意見について、あなた自身の考えを六〇〇字以上、八〇〇字以内で述べなさい。

令和六年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校コース

学校教育専攻

出題の意図

この小論文の出題の意図は、教育学部のアドミッション・ポリシーに基づき、（一）教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきいたい人、（二）教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、（三）高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、（四）沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立つて教育活動に携わりたい人を求めている。そして、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえて、問一では、教育や子どもに関する知識・理解について、問二では、小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力、及び小学校教育に対する意欲・関心について、それぞれ表現できるかをみる。